

## 『人皆師』

仕事柄、多くの人に会う機会に恵まれており、日々感謝の毎日です。

若いころから人皆師の信念で、出会うすべての人を尊重し、学ぶことを探し求めて生きてきましたので、今も様々な人に出会うたびに最高に幸せな思いになります。

職場でも面談や会合でもどんな人にも、たくさんの素晴らしい考え方や人間性を見つけて、感心したり感激したり連続で親しくなるきっかけになります。

40年間の数社での企業人生の内、30年の国内各地、10年の海外各地での生活で得た人脈は、共に歩いてきた家内や家族と同様の私の全財産であり、まだまだ増え続けています。

また、この人脈の糸は、いつも会っている人でも、更に違った人を交えて話していると突然予期もしなかった人脈の糸に繋がって、人生摩訶不思議の人間模様を展開し始めます。

この小躍りするような、鳥肌もの人脈の繋がりがや新たな発見は今や私の大きな喜びです。初めてお会いする方々が大勢いらっしゃる会合などに入る時はいつも、今日は私自身や、私の財産のどの糸が共鳴するのか、わくわく楽しみになります。

果たして、話しているうちに常に自分のどれかの人脈に繋がって、また新たな世界が展開し始めて人脈が伸びていきます。これは今や国内、海外問わず広がり、時にはいろんな人から私のいない場外で、誰かを通して私とまた新しい糸で繋がった感激メールが飛び込んできて、至福の一日となります。それに対する返信メールや手紙はまた楽しいひと時です。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

PICK UP!

## 今月の選手インタビュー FW34 田中達也 選手



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

1.ここまでシーズンの3分の1を終えました。振り返っていかがでしょうか？

リーグ戦が3分の1を終わりましたが、序盤は怪我でチームに貢献することができなかったし、復帰してからも、試合に出させてもらっていますが、得点やアシストで貢献できていなくて、僕みたいに攻撃の選手は得点やアシストのところが一番の貢献だと思うので、目に見える結果を早く残したいと思います。

2.プレー中心がけていることは？

とにかく自分のできること、得意なドリブルや裏へ抜けるスピードを出していこうと思っています。

3.開幕直前の怪我で「なんでこんな時に」という想いだったと思いますが、復帰して、今振り返るとその期間で得たものはありますか？

体調管理を意識するようになりました。その結果、体重と体脂肪率が減りましたし、準備とクアをかなり気にするようになりました。具体的には野菜を多くとるようにし、食べる量を3食の中で昼食を一番多くしました。これまで一番多かった夕食の量を減らして、時間も早くしました。そして朝の起きる時間を早くして、練習開始の2時間前にはしっかりとした量の朝食を食べるようにしました。割合で言うと、これまで2-4-4だった食事の量を、3-4-2にしました。それが今の良いコンディションにつながっています。

4.ラモス瑠偉監督とよく話をしていますが、どんな話をしているの

でしょうか。

これまで高校・大学とひたすら攻撃で、ひたすらドリブルしかしてこなかったで、守備が少し苦手なところでもあり、ポジションングなどをラモス監督に聞いています。またディフェンスの岡根直哉選手や高木義成選手など経験のある選手に話を聞いたり、水野泰輔選手とポジションが近いので、試合中のプレーについて、どうしたらもっと良かったのかを聞いたりしています。水野選手は年下ですが、サッカーの考え方もしっかりしているので、そこは年齢関係なく、どんどん話を聞くようにしています。

5.これからの目標は？

ゴールやアシストを一つでも多くとることです。試合中に調子が良くて、「今日は結構良いプレーをしているなあ、これくらいいいか」とならないように、具体的な数字は持たないようにしています。貪欲さがなくなるというか…。やっぱり世界のすごい選手は、1試合で3得点決めて、普通だったらそこで満足して足が止まるような試合でも、4点目をとりに行くし、4点目が決まっても5点目をとりに行きます。そういった姿勢があるから、得点をとり続けることができると思います。だから僕もどんな時も満足することなく、試合が終わる、最後のロスタイムまで積極的にプレーしたいです。もちろんチームが勝つことが一番大事なので、そこはき違えないようにしながらも、『得点が取れるチャンスがあったのにゴール前まで走っていなかったから取れなかった』ということがないように、チャンスを逃さない貪欲さを持ちながら、チームが勝つように、チームのためにプレーしたいと思います。